

■ 製造規格 Products Standards

規格	種類の記号	Chemical Composition										Mechanical Properties																
		化学成分%										引張試験						曲げ性			衝撃試験							
		C	Si	Mn	P	S	Cu	Cr	Ni	その他		降伏点または耐力 N/mm ²			引張強さ N/mm ²	降伏比 %			伸び			厚さ方向特性 絞り %	曲げ角度	内径半径	試験片	試験温度 °C	シャルピー吸収エネルギー J	試験片
										炭素当量 %	溶接割れ感受性組成 %	厚さ mm				厚さ mm			厚さ mm	試験片	%							
6以上12未満	12以上16未満											16	6以上12未満	12以上16未満		16												
建築構造用 圧延鋼材 (JIS G 3136)	SN400A	厚さ 6mm以上 100mm以下	0.24以下	-	-	0.050以下	0.050以下	-	-	-	-	-	-	235以上	400以上 510以下	-	-	-	6以上 16以下	1A号	17以上	-	-	-	-	-	-	-
	SN400B	厚さ 6mm以上 50mm以下	0.20以下	0.35以下	0.60 ~1.50	0.030以下	0.015以下	-	-	-	0.36以下	0.26以下	235以上	235以上 355以下 (※1)	235以上 355以下 (※1)	-	80以下 (※2)	80以下 (※2)	6以上 16以下	1A号	18以上	-	-	-	0	27以上	V ノッチ 圧延 方向	
	SN490B	厚さ 6mm以上 50mm以下	0.18以下	0.55以下	1.65以下	0.030以下	0.015以下	-	-	-	0.44以下	0.29以下	325以上	325以上 445以下 (※1)	325以上 445以下 (※1)	490以上 610以下	-	80以下 (※2)	80以下 (※2)	6以上 16以下	1A号	17以上	-	-	-	0	27以上	V ノッチ 圧延 方向
一般構造用 圧延鋼材 (JIS G 3101)	SS400	-	-	-	0.050以下	0.050以下	-	-	-	-	-	-	245以上	400 ~510	-	-	-	5以下 5超16以下	5号 1A号	21以上 17以上	-	180°	厚さの 1.5倍	1号	-	-	-	
溶接構造用 圧延鋼材 (JIS G 3106)	SM400A	厚さ 50mm以下	0.23以下	-	2.5×C以上 (※3)	0.035以下	0.035以下	-	-	-	-	-	245以上	400 ~510	-	-	-	5超16以下	1A号	18以上	-	-	-	-	-	-	-	
	SM400B	厚さ 50mm以下	0.20以下	0.35以下	0.6~1.5	0.035以下	0.035以下	-	-	-	-	-	245以上	400 ~510	-	-	-	5超16以下	1A号	18以上	-	-	-	-	0	27以上	V ノッチ 圧延 方向	
	SM490A	厚さ 50mm以下	0.20以下	0.55以下	1.65以下	0.035以下	0.035以下	-	-	-	-	-	325以上	490 ~610	-	-	-	5以下 5超16以下	5号 1A号	22以上 17以上	-	-	-	-	0	27以上	V ノッチ 圧延 方向	
	SM490B	厚さ 50mm以下	0.18以下	0.55以下	1.65以下	0.035以下	0.035以下	-	-	-	-	-	325以上	490 ~610	-	-	-	5以下 5超16以下	5号 1A号	22以上 17以上	-	-	-	-	0	27以上	V ノッチ 圧延 方向	
	SM490YA	厚さ 100mm以下	0.20以下	0.55以下	1.65以下	0.035以下	0.035以下	-	-	-	-	-	365以上	490 ~610	-	-	-	5以下 5超16以下	5号 1A号	19以上 15以上	-	-	-	-	0	27以上	V ノッチ 圧延 方向	

●炭素当量(%)=C+Mn/6+Si/24+Ni/40+Cr/5+Mo/4+V/14
 ●溶接割れ感受性組成(%)=C+Si/30+Mn/20+Cu/20+Ni/60+Cr/20+Mo/15+V/10+5B
 受渡当事者間の協定によって、溶接割れ感受性組成を炭素当量の代わりに適用することができる。
 ●SN400B、SN490B、SM490B、SM490YB—衝撃試験は厚さ12mm超のものについて行い、シャルピー吸収エネルギーは3個の試験片の平均値とする。
 ●曲げ性の試験は特に注文者の指定がない限り省略できる。

(※1) t1が9mm以下のH形鋼は、降伏点または耐力の上限は適用しない。
 (※2) t1が9mm以下のH形鋼は、降伏比の上限を85%とする
 (降伏比は、引張強さに対する降伏点、または耐力の割合)。
 (※3) Cの値は、溶鋼分析値を適用する。